

☆☆クリスマス・スペシャル☆☆

ダイアンの英語でバルーンショー
イベント報告書



子どもたちを前に英語と日本語で話をするダイアンさん

12月18日(日)北海道帯広市にて、英会話学校ジョイ・イングリッシュ・アカデミーの協力のもと、(財)日本英語検定協会主催でダイアン・オレット(ダイアン吉日)さんのバルーンショーイベントを開催しました。このイベントは、ジョイ・イングリッシュ・アカデミーの教室1室を貸しきり、小学校1年生から6年生までのジョイ・イングリッシュ・アカデミーに通う子どもたちと、地元帯広に住む小学生たち約80名を無料で招待し、英語を学ぶ楽しさを、バルーンショーを通して気づいてもらうために開かれました。イベントではバルーンショーだけではなく、子どもたちのために見

児童英検オンライン版を体験できるコーナーも設けていました。

当日は午後2時からのイベントでしたが、午後1時半頃から続々と子どもたちが集まり始めました。クリスマス直前ということで、イベントを催した室内は華やかなクリスマスデコレーションに溢れ、子どもたちはとても興奮した様子でした。

クリスマスの音楽が元気よく流れ出すと、部屋に真っ赤なワンピースに身を包んだダイアンさんが入ってきました！すると子どもたちも大盛り上がり。“Hello everyone!”と子どもたちに明るくダイアンさんが声をかけると、誰一人臆することなく“Hello!”と大きな声で返事をしていました。



ボランティアをつのり、子どもたちと一体のイベントに

イベントはまず、簡単な英語のレッスンから始まりました。数字の教え方、自己紹介に欠かすことのできない名前の言い方、年齢の言い方、喜怒哀楽などの感情表現の仕方…。驚かされたのが、ダイアンさんの子どもたちを飽きさせないその見事な「しゃべり」です。英語はさることながら、関西なまりの流暢な日本語をたくみに使い分け、冗談やボケを多々織り込み、子どもたちを惹きつけます。また言葉だけではなく、ころころと変わる表情や大きなリアクションで子どもたちの関心を引き寄せて離しません。普段はシャイな子どもたちも、ダイアンさんやその場にいるほかの児童たちと英語を使うことで、生き活きとしていました。

バルーンショーに入ると一段と子どもたちのボルテージが上がりました。かんたんな英語を使いながら、あっという間に作品を作るダイアンさん。ボランティアをしてくれた児童に作りたてのバルーンを手渡すと、次のバルーンアート欲しさに子どもたち全員の手があがります。最後にサンタクロース、天使、トナカイを魔法のように作ると、バルーンショーは大盛況のまま幕を閉じました。イベントが終了すると、弊協会が用意した児童英検のノベルティー式を子どもたちに手渡し、それを受け取った子たちはダイアンさんの前に長蛇の列を作って英検のノートやクリアファイルにサインをもらっていました。サインをもらっている最中もダイアンさんと楽しそうに英語で会話をしている、今回のイベントの成功を確信した瞬間でした。



素敵な衣装と話術で子どもたちをとりこに



サインをねだる子どもたちに応えるダイアンさん